



## 『なでしこジャパン』世界の頂点へ!

いやー、久しぶりに興奮しました。ワールドカップのファイナルのアメリカ戦。深夜から早朝にかけてテレビの前にくぎ付け。それにしては日本らしい勝ち方だった。過去何度挑んでもアメリカの壁は大きかった。前半はアメリカの猛攻撃に防戦一方。何度もヒヤヒヤさせられる場面があった。スコアの上では前半 0 対 0 だったが、2-0 であってもおかしくはなかった。

後半アメリカに先制点を取られても弱気になることなく、あきらめることなく、粘り強く攻め続けた日本チームはまさに『不屈のチーム』だった。

大男を思わせるアメリカ選手。それに向かうバンビのようなアメリカ選手。体格差を運動量と組織力で対抗した。「柔よく剛を制する」とはまさにこのこと。

延長戦後半12分。あと残り時間3分。またしても澤選手。コーナーキックに見事にあわせて魂のゴール。そして、迎えた運命のPK戦。円陣の日本選手はみな笑顔。対してアメリカ選手の顔はこわばっていた。

ゴールキーパーの海堀選手は3人の内2人を止めた。特に最初のキッカーの強いボールを左足1本で枠外に弾き飛ばした執念はすさまじかった。

勝利を決めるゴールを決めたのは20歳の熊谷選手。相当なプレッシャーだったと思う。しかし、臆することなく大会随一の名ゴールキーパーのソコ選手の立ちはだかる壁を突き破った。勝利の瞬間、だれよりもはやくキーパーの海堀選手と抱き合っていたのが印象的だった。

佐々木監督の手腕と統率力もすばらしかった。試合中、眉間にしわを寄せて難しい顔をしていたが、PKを前に円陣の中では笑顔が見られた。これは澤選手が「一番最後に蹴らせて。PKが苦手なので。」と言った。」するとみんなが「沢さんずい」と言って笑いが出たという。優勝インタビューでは、なでしこの選手たちを「ちっちゃな娘たち」と形容しているところに人柄が表れていた。

「夢はみるものでなく、実現させるもの」まさにその通り。過去一度もメダルを手にしたことのない日本チームが日本一になった。

なでしこジャパン優勝おめでとう。ありがとう。世界一にふさわしい素晴らしいチームだった。オバマ大統領が言うとおりに、未曾有の試練に立ち向かう日本にふさわしい決勝戦だった。

なでしこの花言葉は「大胆・勇敢」。「ちっちゃな娘たち」たちはなんとふさわしい花言葉か。

最後にMVPに選出され、得点王にもなった澤選手。穂希(ほまれ)の名のごとく、あなたは私たちの誉れだ。

(HP塾長コラムより抜粋)

## ■夏期講習に向けて

(1) 明確な目標をもつー勝利にこだわる努力こそが宝物

自分がどこの高校に行きたいのか。そのためには何を、どうすればいいのか。

次の学年順位は何番をとろう。得意な英語は10番以内に入るなど。具体的な目標を掲げ、「僕は絶対成績があがるように頑張るんだ」という強い気持ちを持つこと。つまりモチベーションの喚起と。それに向かって突き進む実行力が大切。

(2) 科目ごとに、苦手単元、分野を発見、克服する

自分が得意な教科・単元、苦手な教科、単元をあげてみる。

例: 苦手な教科「理科」

単元名「電流」「天体」

夏休みに家庭学習が、**一日5時間×40日間=200時間**とすると、

これは、中学での1.2年生の1科目分の学習時間と等しくなる。だから、かなり苦手科目でも、頑張り次第で克服できる。

(3) これまでわからなかった所を、整理し、徹底的に理解する。

定期試験の問題をもう一度やり直すこと。もう一度やり直してみると、×のついていた問題はやっぱり解けないし、○がついていたものも忘れていたりする。

## ■塾内模試 8/29(月)

小学生 1:00~2:30(算国)

中3生 1:00~5:00

5教科(英リスニング実施)

中学1.2年生 5:00~9:00

※中学生はコンパスと定規を持参してください。

## ■夏期講習の間、7.8月とも通常授業は実施します。

## ■質問日(ケアディー)

8/30(火)・31(水)は質問日、全学年 14:00~17:00の間、質問を受け付けます。

塾生の参加は自由です。

## □『高校受験土曜特別講座』開講のお知らせ

9/3(英語・国語・社会) 英語はリスニング実施

9/10(数学・理科)

9/24(英語・国語・社会)

時間 午後1時半~5時半

※当初予定の土曜の9/17(土)は体育大会のため9/3に変更します。

